

災害リスク削減における基礎知識と実践的ノウハウを伝授しました！

～JICA「総合防災コース」研修～

～六甲砂防事務所～

独立行政法人 国際協力機構(JICA)が行っている研修の一環として、アルジェリアなど6カ国から来日されている「総合防災コース」の研修生が六甲砂防事務所を来訪されました。講義では、六甲山地での過去の土砂災害と砂防事業の取り組みなどの説明を行い、現地視察では、令和5年3月竣工の砂防堰堤を案内し、六甲砂防について学んでもらいました。

概要

日時：令和6年1月29日（月）13：30～16：00

場所：六甲砂防事務所
荒神山西砂防堰堤
（神戸市東灘区住吉山手9丁目）

【位置図】



主催：JICA

参加者数：6名

（アルジェリア、バングラデシュ、ブラジル、インドネシア、パキスタン、スリランカ）

講義では、六甲山地で実施している砂防堰堤の整備等の土砂対策事業や、六甲山系グリーンベルト整備事業での地域住民と連携した樹林整備等の取り組み、各事業での課題について説明しました。現地視察では、都市部に近接している砂防堰堤を見てもらうことで、災害リスク削減のための事前防災投資の重要性・必要性を学んでいただきました。



【質疑応答】

Q：アルジェリアでは植林事業は環境省が関わっていますが、日本では国土交通省が行っているのですか？

A：植林は国土交通省と林野庁が行っています。環境省は主に許認可関係を行っています。

Q：ソイルセメントで施工された堰堤とのことですが、通常のコングリートで施工した場合と比較すれば強度の違いはありますか？

A：コングリートと同等の固さがあります。ソイルセメントで構造物を施工するときは必ず試験をして強度を確かめています。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

